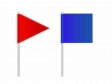
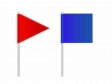
国際理解教育目標シート　派遣国　　　　　　　　学校名　　　　　　　　　学校　氏名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | 異社会・異文化・異言語に接する中で、印象的な出来事を３つ思い出して「２」の欄に書いてください。その体験に「見出し」をつけるとしたら、下の一欄の国際理解教育の目標項目のどれに当てはまりますか。「２」の番号欄に書いてください。「知識」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の３つの観点から、必ず入るように選んでください。つまり、最低3つの欄は埋めてください。下の一覧にない場合は、自分が考える目標項目を「その他」の欄に書いて、その番号を書いてください。 | |
| ◆「知識」   1. 国際友好・平和　② 文化的多様性と共通性　③ 相互依存　④ 正義・公共性　⑤ 共生   ⑥　持続可能性　⑦ 民主主義  　◆「思考力・判断力・表現力」  ⑧ 偏見・差別・ステレオタイプを見抜く力（批判的思考力）　⑨ コミュニケーション力  　　⑩ 課題解決能力　　⑪ 想像力  　◆「学びにむかう力・人間性」  　　⑫人権意識　⑬ 寛容・共感・エポケー　⑮ 協力・協調性　⑯　誇り・自尊心  ⑰行動・参画　⑱グローバルな意識  　◆その他（⑲　　　　　　　　　　　⑳　　　　　　　　　　　　） | |
| ２ | それはどのような体験から、どのように考えたのですか。 | |
| 番号 |  |
| 番号 |  |
| 番号 |  |
| 番号 |  |
| 番号 |  |
| ３ | 教師として、指導観・教育観は変わりましたか。もし、変わったとしたならば、帰国後どのように生かしていこうと思いますか。 | |
| ４ | 自分の体験を、国際理解教育の目標として一般化することができましたか。  では、指導のための自分なりの国際理解教育の全体構想図を簡単に考えてみよう。  大目標  それを実現するための３つの小目標　　（重点化する必要があります！） | |
| ５ | ※具体的な指導方針（こんなことをやってみたい！）（今こんなことをやっている！） | |

☆派遣教員はいかに異文化体験をカリキュラム化できるか？☆

※リエントリーショックとは、派遣時のカルチャーショックの帰国版である。

仮のゴール

[](https://www.sozai-library.com/sozai/618)

・重点化系統化された国際理解教育

・どの教師でもできる国際理解教育

違和感

活　用

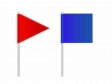
・異文化での見聞・体験・知識

ジャンプ

第1のゴール

児童生徒が多文化共生社会を生き抜く力を育てる

教師自らが多文化共生社会で貢献活動を行う

[](https://www.sozai-library.com/sozai/618)

第2のゴール

・日本の教育を地球的視点から俯瞰し、批判的に海外の教育の良さを享受

・日本の伝統を理解しながら、西欧の個人主義に基づく教育観を理解し活用

指導観・教育観・世界観の変容

グローバル化（世界基準）

【派遣教師のキャリア形成】

派遣教師は、派遣という海外体験を通じて、指導の3観点に当てはめると、次のような変容が起きる。第1のゴールは、「知識」から、第2のゴールは「思考力等」「教えに向かう力・人間性」からスタートする。